

やすらぎ短信

平成28年
5月号

五月 種蒔き



ようやく暖かくなり、境内の紫つつじが開花しましたが、四月二十九日に珍しく雪が降りました。五月に入り、大型連休がはじまりましたが、はやく暖かくなって欲しいものです。

先月は、浦幌町内の部落神社の春祭りをご奉仕致しました。春祭りは、正式には「祈年祭」（きねんさい・としごいのまつり）といい、その年の五穀豊穰と国の繁栄、皇室の弥栄、国民の安寧を祈願致します。今年は雪解けも早く、農作業も順調に進んでいるようです。五月に入

ると種蒔きはじまり、本格的に忙しくなりますが、農作業事故等なく、稔りの秋を無事お迎えできるようお祈り致しました。何事も種を蒔かなければ、作物は稔りません。種は自然が与えてくれた恵みであり、先人が生きるために後世に残してくれたものです。種に感謝と祈りを込めて、蒔きつけをしてきたのが日本人です。その心を示す場所が神社の春祭りです。浦幌神社の春祭りは、五月二十日午後五時三十分より斎行致します。どなたでも参列できますので、皆様のお参りをお待ち致しております。

端午の節句



五月五日は、端午の節句です。五節句の一つで、元々は、田植えに先立ち、田

の神様に五穀豊穰を祈る儀式でした。魔除けのために菖蒲しょうぶや蓬よもぎで葺いた屋根で一晩を過ごし、身を清めて田植えに備えました。後に、「菖蒲」が「尚武」に通じるといふ縁起から、武者の人形を飾るなど、男子の節句として広まりました。鯉こいのぼりも、鯉が滝を登り切つて竜になったという故事から「立身出世」の象徴として各家であげられるようになりました。浦幌神社でも五月の連休中に、三十四匹の鯉のぼりをあげて、子供たちの健康と活躍をお祈りしております。



浦幌神社鯉のぼりの様子

浦幌神社春季祭

日時 平成二十八年五月二十日
余興 午後四時～五時(雨天時は社殿)

神社〇×クイズ

餅まき・お菓子まき

式典 午後五時三十分より

※今年は、浦幌神社ご創祀百二十周年記念で、たくさんのお餅をまきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

乳神神社春季祭

日時 平成二十八年五月二十一日
受付 午前十時三十分より
式典 午前十一時より

健康祈願・病氣平癒祈願・子授け祈願

安産祈願・縁結び祈願・その他祈願

※ご本殿の御扉をお開きし祈願致します。

浦幌神社行事予定

五月一日	月次祭
五月十三日	新総代副総代顔合わせ会
五月十五日	月次祭
五月二十日	浦幌神社春季祭
五月二十一日	乳神神社春季祭

宮司の「筆」

日本人の「絆」は崩れない！

熊本地震、復興への祈り

四月十四日より、熊本地方を震源とした「熊本地震」が発生しました。テレビで地震の爪跡を目の当たりにし、被害の甚大さを実感しました。お亡くなりになられた方々のご冥福と、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。東日本大震災から五年が経過しましたが、自然の凄まじい力の前に、人間の無力さを只々感じ、胸が痛みます。四面を海に囲まれた島国日本は、国土の七割が山地です。豊かな自然の恵みを楽しみながら生活を営んでおりますが、時に自然は猛威を振ります。災害の度、日本人は困難から立ち上がり、結束して復興を成し遂げてきました。日本人が互いに助け合っ築いてきた「絆」は決して崩れません。更に「絆」を強めて、被災地の方々が安心した生活を取り戻せるよう一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

交通安全鐵馬御守(てつうまおまもり)

交通安全鐵馬御守は、オートバイを運転される方の交通安全の御守りです。昨年は、「金色」のバイク模様の御守りのみでしたが、今年の五月一日から「銀色」のバイク模様の御守りも授与致しております。(年中授与致します。)



(初穂料八〇〇円)

のぼり杭の補修をご奉仕

先月、宏昌鉄工場の鈴木啓允様のご奉仕により、のぼり杭を補修頂きました。心より感謝申し上げます。

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八